

## 令和4年度 中野区立中野第一小学校 学校経営計画

学校教育目標	心身ともに健康で知性と感性に富み、自分も人も大切に作る豊かな人間性を持ち、時代と社会の変化に主体的に対応してたくましく生き、社会に貢献できる児童を地域・保護者と連携して育てる。		
	考える子 思いやりのある子 元気な子		
目指す子ども (幼児・児童・生徒)像	1 自分の大切さとともに他の人の大切さを認める心と態度を身に付け実践する子 2 基礎的・基本的な学力を確実に身に付け、習得した知識・技能を活用できる子 3 運動に親しむとともに、健康・安全・防災に関する必要な知識等を習得し、健康で活力ある生活を営む子	目指す学校 (教師像を含む)	児童に 保護者に 地域に 教職員に わたしっていいね! I'm OK! <b>喜びを生み出す学校</b> 子供を中心として学校・家庭・地域がつながり それぞれのもてる力を発揮し、 地域そのものが一つの学校として教育に当たり、 愛され誇りにされ喜びを生み出す学校をつくり、 児童のよりよい成長を促す適切な支援を充実させた教育を実現する。 あなたもいいね! You are OK!
教育目標を達成するための基本方針	<p>(1) <b>豊かな人間性の育成</b> 人権尊重の精神を基盤とし、全教育活動を通して生命や人権等を尊重する態度や規範意識を育むとともに自尊感情や自己肯定感、自己有用感を高める。学年や異学年での交流、地域の人材を活用した教育活動や交流活動等を通して、道徳性や豊かな人間性、人間関係形成力を培うとともに、地域で学ぶ児童への一貫した成長支援・育成に取り組む。また、保護者や関係機関、スクールカウンセラー等との連携を密にしながら児童が安心して過ごせる環境を整備するとともに、学校いじめ防止基本方針に則り、全教職員で年間を通して継続的にいじめ未然防止等に全力で取り組む。</p> <p>(2) <b>学力の向上</b> 児童の実態に基づいて指導方法を工夫改善した授業と評価規準・評価計画による適正な評価・評定を実施し、個に応じた指導や補充学習、少人数・習熟度別指導等を通して基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るとともに、言語活動や課題解決学習、体験的な学習の一層の充実により思考力・判断力・表現力等を育成し活用する力を身に付けさせる。また、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びを推進するとともに、学びを人生や社会に生かそうとする姿勢や態度を身に付け、持続可能な社会の担い手としての資質や能力を育成する。また、外国語によるコミュニケーション能力の向上を目指すとともに多文化共生社会を生きる国際感覚を育む。</p> <p>(3) <b>体力の向上と健康の保持増進</b> 年間を通して体育の授業改善や体を動かす運動や運動遊びに取り組み、日常的に運動に親しむ資質を育成して体力・運動能力の向上を図る。食育や防災教育の推進、交通・安全指導の徹底により必要な知識等を習得させ、心と体の健康づくりに主体的に取り組む態度や健康で活力ある生活を営む実践力を育てる。また、特別支援教育に関する研鑽を深めるとともに校内支援委員会の活動を一層活性化させ、関係機関等との連携を取りながら、個に応じた指導ときめ細やかな支援による児童の心身の健やかな成長を図る。</p> <p>(4) <b>保護者・地域との連携・協働</b> 土曜授業公開の実施、学校だよりやホームページ等とおして、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を保護者や地域と共有・連携し、社会に開かれた教育課程の確立と地域社会と共に教育を推進する学校の構築を推進する。また、保幼小中の連携を生かして生きる力を更に伸ばし育ていく。</p>		

A 重点目標		B 中期経営目標 (数年間でどのような状態にするか)	C 短期経営目標 (今年度末までにどのような状態にする)
1	【知(確かな学力)】保幼との円滑な接続と小中9年間の学習の系統性を踏まえ、小学校における基礎的・基本的な学力の定着と知識・技能を活用する力を身に付ける。	【学習方法の改革】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びを推進する。	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。学習したことがよくわかり楽しく学習している児童を90%以上とする。
2	【徳(豊かな人間性)】自分の大切さとともに他の人の大切さを認める心と態度、実践する力を身に付ける。	【自己評価を育て高める】 様々な機会に積極的、肯定的に対応する能力の土台となる高い自己評価をもつ。 【人権尊重の精神を育てる】 生命や人権等を尊重する態度や規範意識を身に付ける。	自信のあるところとないところを含め、自分自身にだいたい満足している児童を80%以上とする。 自分を大切に作る児童を90%以上、友達を大切に作る児童を95%以上とする。
3	【体(健康・体力)】運動に親しむとともに健康・安全・防災に関する必要な知識等を習得し、健康で活力ある生活を営む力を身に付ける。	【身体の健康】 運動に親しむ資質を育成し体力・運動能力を向上させる。 【心の健康】 心身の関係について理解し、楽しく明るい生活を営む態度を身に付ける。 【安全な生活】 安全について理解し、自ら安全に行動する力を身に付ける。	体を動かして遊んだり運動したりすることは楽しい児童を90%以上とする。 健康に気を付けて、元気に生活している児童を95%以上とする。 安全に気を付けて生活している児童を95%以上、困ったことや悩みがあったらだれかに話したり相談したりできる児童を80%以上とする。
4	【学校における働き方改革】教職員の心身の健康保持を図り、心身共に充実して働き続けられる働き方を実現する。	教職員の働き方に係る意識改革を推進し、働き方の改善に具体的に取組む。	時間外勤務の上限について月45時間、年間360時間とする。
5	【保幼小中連携】保育園・幼稚園から小学校、小学校から中学校への円滑な接続を図り、連携を生かして生きる力(豊かな心・学力・体力)を更に伸ばし育てる。	教科指導や生活指導等において発達段階や学びの連続性を踏まえた意図的・計画的な指導の工夫を行い、一貫性のある継続的な指導を行う。	教科指導において発達段階や学びの連続性を踏まえた意図的・計画的な指導を構築する。